

1 移動体

地方でも携帯電話の普及が加速

平成12年度末現在、我が国では携帯電話は約2人に1台、PHSは約22人に1台の割合で普及している。

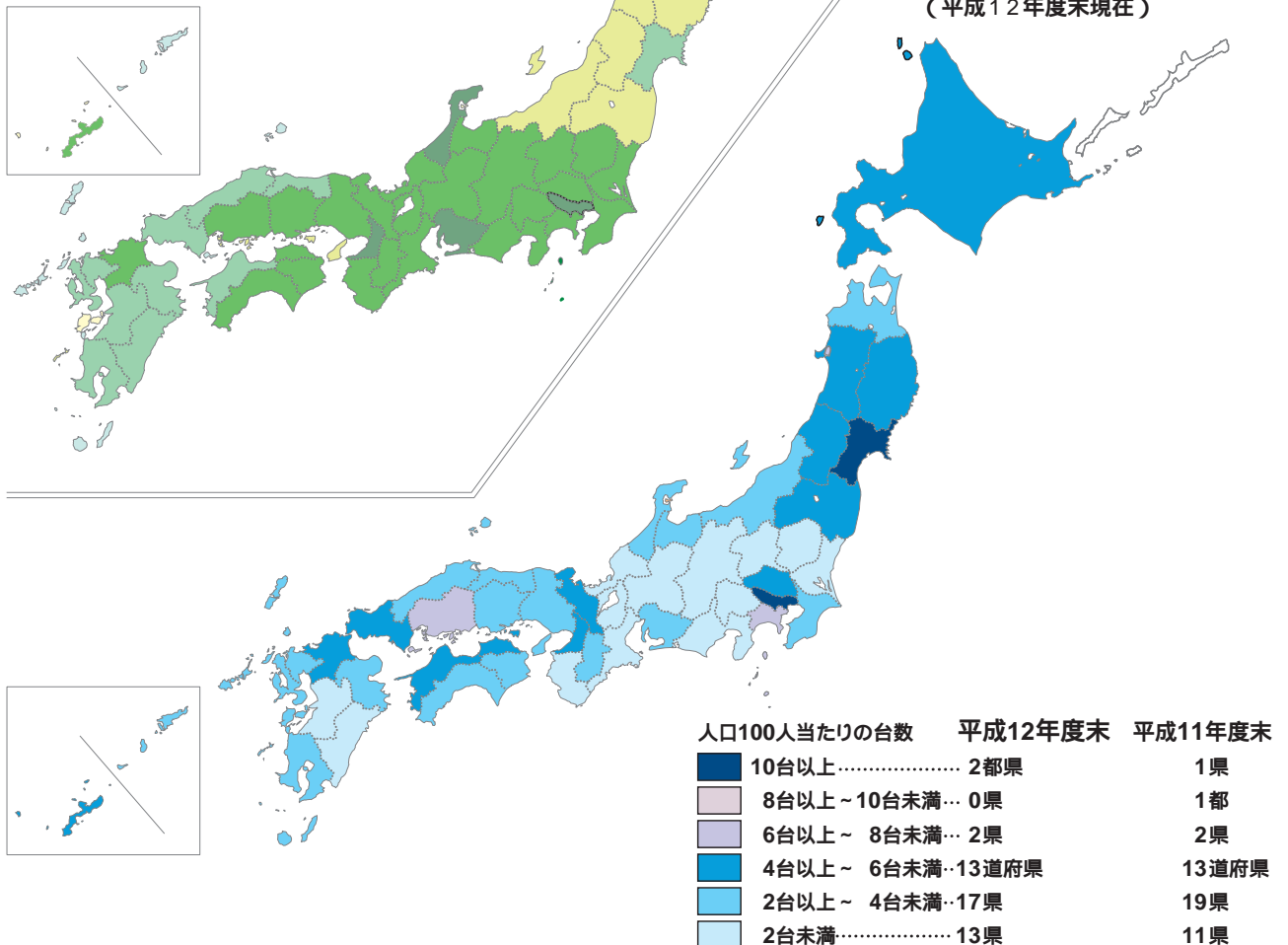
都道府県別にみると、携帯電話の普及率は東京都が最も高く、次いで愛知県、大阪府、石川県となっており、いずれも100人当たり50台を超えている（図表 ）。また、人口100

人当たりの普及台数が30台未満の県は、平成11年度末には6県あったが、平成12年度末にはなくなり、地域における普及率の底上げが図られている。一方、PHSについては、宮城県が最も普及しており、約10人に1台の割合となっている。

図表 携帯電話の普及状況（平成12年度末現在）



図表 PHSの普及状況（平成12年度末現在）



図表 、 各社資料より作成

2 衛星

宇宙通信とJSATの東経110度衛星が打上成功

国内サービス

第一種電気通信事業者が国内サービスに使用中の静止衛星は、平成12年度末現在13機であり、総トランスポンダ（電波中継器）数は411本である。平成12年10月には、宇宙通信とJSATが、東経110度に共同利用衛星（スーパーバード-D及びJCSAT-110）の打上げに成功している。

衛星の利用分野は、JCSAT、スーパーバード及びPASが主に企業内通信、デジタル多チャンネル放送、衛星インターネット等であり、N-STARが離島通信及び災害時等の迂回用となっているほか、移動通信サービスにも用いられている。

一方、放送衛星は、平成12年度末現在4機であり、BSAT-1a、BSAT-1b及びBS-3Nがアナログ放送用（BSAT-1b

及びBS-3Nはバックアップ用）、BSAT-2aがデジタル放送用である。

国際サービス

第一種電気通信事業者が国際サービスに使用中の静止衛星は、平成12年度末現在21機である（図表）。

その他

以上のほか、低軌道衛星として平成11年3月に運用を開始したオーブコムジャパンが新たに地球規模の双方向データ通信及び測位サービスを展開している。また、平成11年12月に米オーブコム社とカナダのテレデシック社が協同して7機の衛星通信の打上に成功しており、現在オーブコムは35機体制となっている。

図表 国内サービスに使用中の衛星の概要

軌道	運用会社	放送利用	衛星の名称	トランスポンダ数			国際サービス
				Cバンド	Kuバンド	その他	
静止	ジェイサット		JCSAT - 1B	-	32	-	
			JCSAT - 2	-	32	-	
			JCSAT - 3	12	28	-	
			JCSAT - 4A	-	32	-	-
			JCSAT - 110 ¹	-	12	-	-
静止	宇宙通信		スーパーバード - A	-	23	Ka(3)	
			スーパーバード - C	-	24	-	
			スーパーバード - B2	-	23	Ka(6)	
			スーパーバード - D ¹	-	12	-	-
静止	NTT東日本 NTT西日本 NTTドコモ		N - STARa ²	6	8	Ka(11) S(1)	-
			N - STARb ²	6	8	Ka(11) S(1)	-
静止	パンナムサット・インターナショナル・システムズ・インク(米)		PAS - 2	16	16	-	
			PAS - 4	16	24	-	
			PAS - 8	24	24	-	
静止	放送衛星システム NHK WOWOW		BSAT - 1a	-	8	-	-
			BSAT - 1b(バックアップ用)	-	8	-	-
静止	放送衛星システム		BSAT - 2a	-	8	-	-
静止	NHK WOWOW 通信・放送機構		BS - 3N(バックアップ用)	-	3	-	-
低軌道	ORBCOMM Global(米)・ オーブコムジャパン(日)		Orbcomm	-	-	-	

1 JCSAT-110及びスーパーバード-Dのトランスポンダ数は、それぞれ持分数(所有及び運用)を表記。

2 N-STARa及びbのトランスポンダの一部(全Ku及び全Kaバンド)は、JSATが所有及び運用。

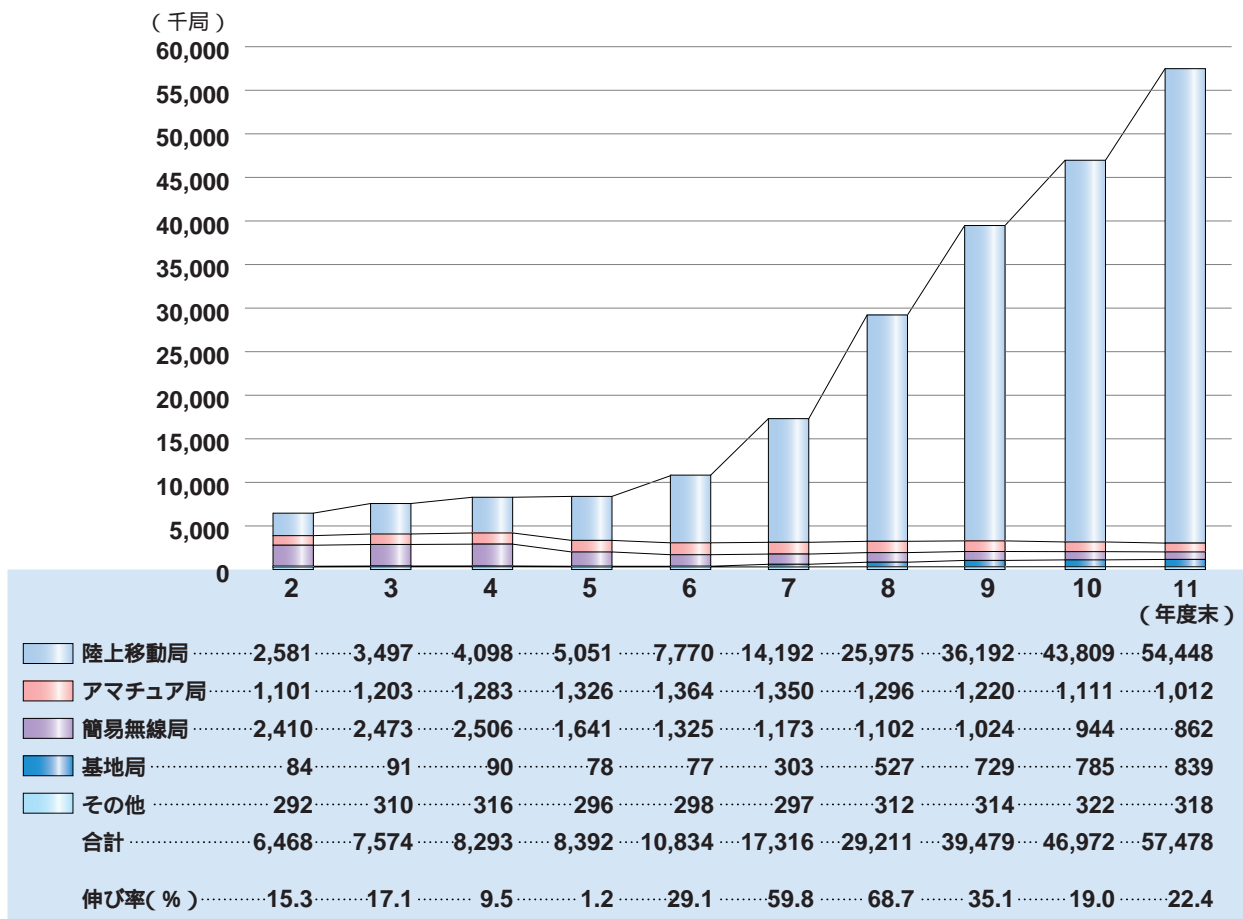
各種資料より作成

3 無線局

引き続き携帯電話利用増加にともない増加

平成11年度末現在の無線局数（PHS端末やコードレス電話等の免許を要しない無線局を除く。）は、5,747万8,504局（対前年度比22.4%増）となった。これは携帯電話の利用増加にともない、陸上移動局が5,444万7,743局（24.3%増）と大幅に増えたほか、基地局の増加も続き83万9,142局（6.9%増）となったことによるものである（図表）。

図表 無線局数の推移



- 1 陸上移動局：陸上を移動中又はその特定しない地点に停止中運用する無線局（携帯電話等）
- 2 簡易無線局：簡易な無線通信を行う無線局（パーソナル無線等）
- 3 基地局：陸上移動局との通信を行うため陸上に開設する移動しない無線局（PHS基地局等）

総務省資料より作成

4 郵便局ネットワーク

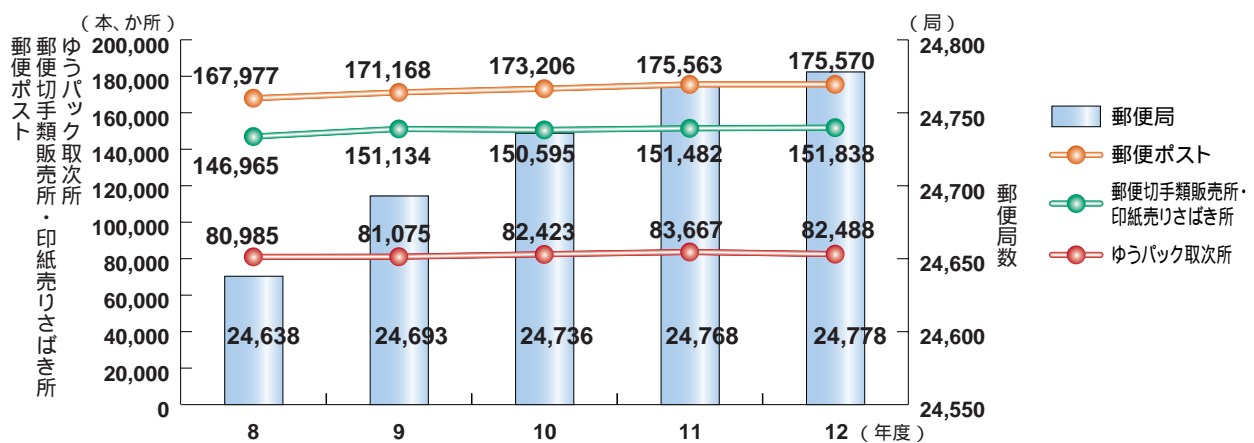
さらに郵便局ネットワークを充実

郵便局は、全ての市区町村に設置されており、全国にあまねく公平なサービスを提供している。

郵便を取り扱う施設数については、平成12年度末現在、郵便局は2万4,778局、郵便ポスト設置数は17万5,570本（速報値）、郵便切手類販売所・印紙売りさばき所は15万1,838か所（速報値）、ゆうパック取次所は8万2,488か所（速報値）となっている（図表、）。

また、総務省では、平成10年6月から、民間運送業者と提携し、郵便局ネットワークを活用して荷物（主に保冷荷物）を郵便小包として届ける協力体制を築いている。このような業務提携を行っている事業者は、平成13年3月末現在15社となっている。

図表 郵便を取り扱う施設数の推移



郵便ポスト、郵便切手類販売所・印紙売りさばき所及びゆうパック取次所の平成12年度の数値については速報値

図表 郵便局数の推移

年度末 區別		8	9	10	11	12
		普通郵便局	1,262	1,265	1,257	1,256
	無集配局	59	59	58	55	55
	小計	1,321	1,324	1,315	1,311	1,312
特定郵便局	集配局	3,682	3,655	3,656	3,651	3,641
	無集配局	15,029	15,109	15,176	15,227	15,275
	小計	18,711	18,764	18,832	18,878	18,916
簡易郵便局		4,606	4,605	4,589	4,579	4,550
合計		24,638	24,693	24,736	24,768	24,778

図表、総務省資料より作成

コラム1 平成13年用寄附金付お年玉付郵便はがき

全国版・地方版併せて51種類発行

郵政省（現総務省）は、平成13年用の寄附金付お年玉付郵便はがきを、全国版3種類及び地方版48種類の計51種類、5億7,690万枚発行した。



コラム1 平成13年用寄附金付お年玉付郵便はがき

コラム2 「20世紀デザイン切手」シリーズの発行

郵政省（現総務省）では、我が国の20世紀を象徴し、21世紀へ向けて、夢と希望のある題材を各種ジャンルに求めて楽しいデザインのシリーズ切手（全17集）「20世紀デザイン切手」を平成11年8月から12年12月まで、原則として毎月「ふみの日」（23日）に発行した。

第9集（4月21日）



1940年～1945年
「杉原千畝副領事がビザ発給」から

第12集（7月21日）



1959年～1964年
「カラフト犬タロ・ジロ南極越冬」から

第15集（10月23日）



1975年～1983年
「時代」から

第1集～第8集は平成12年版通信白書に掲載

第10集（5月23日）



1945年～1952年
「リンゴの唄」から

第13集（8月23日）



1964年～1971年
「ひょっこりひょうたん島」から

第16集（11月22日）



1986年～1993年
「昭和から平成へ」

第11集（6月23日）



1953年～1958年
「ラジオ定着・テレビ本放送開始」から

第14集（9月22日）



1972年～1974年
「高松塚古墳壁画発見」から

第17集（12月22日）



1993年～1998年
「皇太子殿下御成婚」から